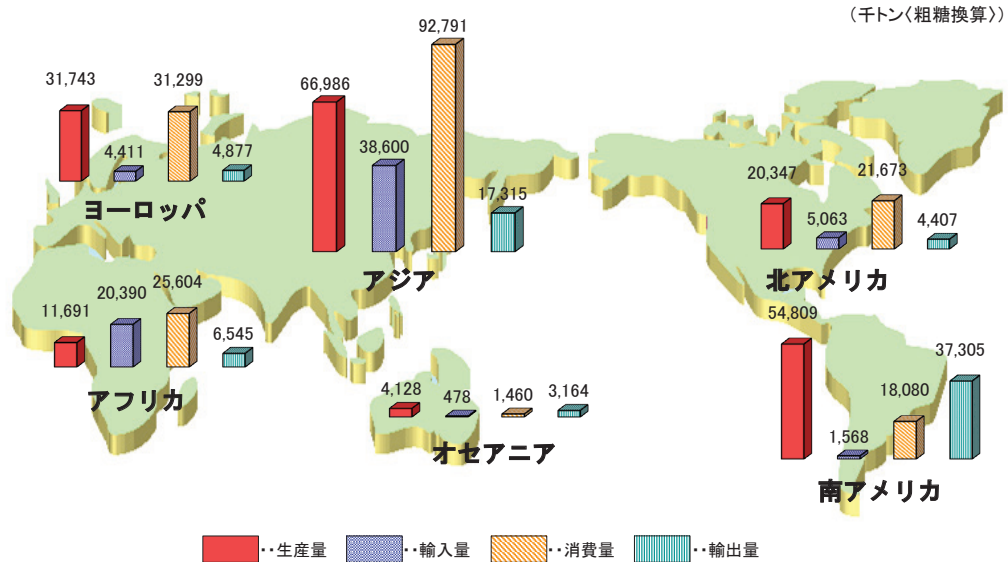


砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星

1 世界の砂糖需給（2025年3月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2024/25年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, March 2025」
 注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

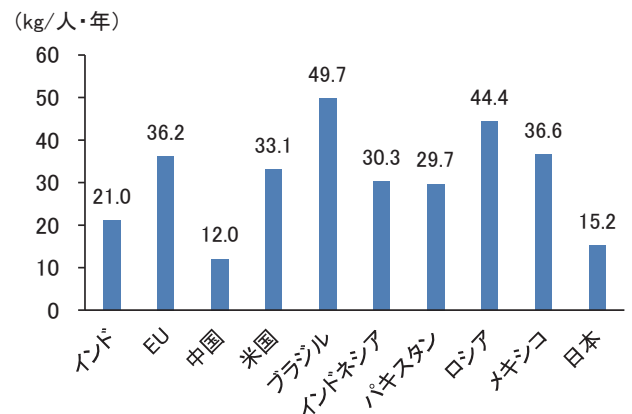
GlobalData UK Ltd.による2025年3月時点の予測によると（以下、特段の断りがない限り同予測に基づく記述）、2024/25砂糖年度（10月～翌9月）の世界の砂糖生産量は、1億8971万トン（粗糖換算（以下、特段の断りがない限り砂糖に関する数量は粗糖換算）、前年度比3.1%減）とやや減少が見込まれている（表）。生産量第1位のブラジルや同第2位のインドで減産が見込まれる一方、EUや中国などでは増産が見込まれている。

また、同年度の世界の砂糖消費量は、1億9091万トン（同0.1%減）と前年度並みが見込まれている。消費量第2位の中国、第3位のEUでは増加が見込まれているものの、消費量第1位のインドは前年度並み、また、米国やブラジルでは減少が見込まれている。

この結果、期末在庫率は前年度から2.2ポイント減少し、40.4%と見込まれている。地域別の砂糖

需給の予測値は、図1の通りである。また、主要消費国・地域の1人当たり砂糖消費量は図2の通りである。

図2 1人当たり砂糖消費量（2024/25年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, March 2025」
 注1：年度は、各国の砂糖年度。
 注2：EUには、英国を含む。
 注3：主要消費国・地域上位9カ国・地域および日本を表示。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン〈粗糖換算〉、%)

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1994/95	47,748	116,773	31,659	112,814	32,490	50,876	45.1
1999/00	67,552	133,221	36,647	127,777	39,765	69,879	54.7
2004/05	70,855	144,263	47,191	146,617	50,893	64,799	44.2
2009/10	63,986	159,903	55,868	164,431	56,003	59,324	36.1
2014/15	75,556	183,661	60,956	176,956	62,498	80,720	45.6
2019/20	90,031	181,776	69,495	182,840	71,621	86,841	47.5
2020/21	86,841	181,965	66,801	185,409	67,987	82,211	44.3
2021/22	82,211	186,262	69,260	188,619	71,048	78,066	41.4
2022/23	78,066	190,615	70,823	190,856	71,081	77,566	40.6
2023/24	77,566	195,808	76,462	191,071	77,291	81,474	42.6
2024/25 (2025年3月予測)	81,474	189,705	70,510	190,908	73,612	77,169	40.4

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, March 2025」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

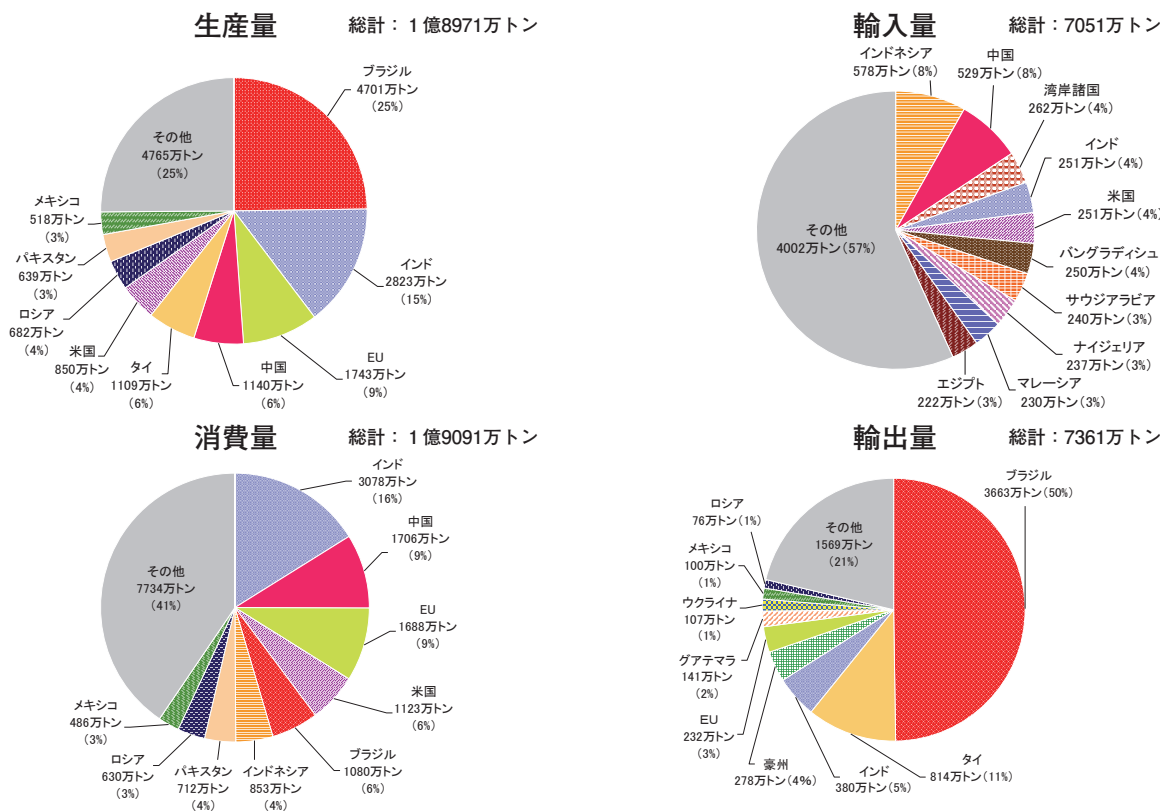
注2：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

2 主要国の砂糖需給（2025年3月時点予測）

図 主要国の生産量、輸入量、消費量、輸出量（2024/25年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, March 2025」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：各数量においては、その主要国とその他を表示。カッコ内はシェア (%)

注3：「その他」は、総計から主要国の計を差し引いた数値。

注4：端数処理の関係で内訳の合計が総計と一致しないまたは100%にならない場合がある。

注5：EUは、英国を除く27カ国。また、湾岸諸国とは、湾岸協力理事会（GCC）のうち、アラブ首長国連邦、バーレーン、カタール、オマーンの4カ国を指す。

【生産量】

ブラジルは、主産地である中南部地域で干ばつや火災が発生し、サトウキビの減産につながったことから、4701万トン（前年度比4.7%減）とやや減少が見込まれている（図）。

インドは、サトウキビの収穫量減少とエタノールへの転用が進んだことから、2823万トン（同18.6%減）と大幅な減少が見込まれている。

EUは、生産量上位国であるフランス、ドイツ、ポーランドを中心にてん菜の収穫面積の増加が見込まれることから、1743万トン（同6.3%増）とかなりの程度増加が見込まれている。

中国は、てん菜の記録的な増産に加え、サトウキビの生育も比較的順調であったことから、1140万トン（同5.9%増）とやや増加が見込まれている。

【輸入量】

インドネシアは、578万トン（同3.7%増）とやや増加が見込まれているものの、同国政府は自国での砂糖生産拡大の取り組みを進めている。

中国は、引き続き国内の需給ギャップ是正のために一定の輸入量が予想されているものの、国内の生

産見通しが改善していることから、529万トン（同29.3%減）と大幅な減少が見込まれている。

【消費量】

インドは、3078万トン（同0.3%減）と前年度並みが見込まれているが、砂糖生産量の減少で消費量が生産量を上回る状況となっている。

中国は、1706万トン（同1.9%増）とわずかに増加し、EUは、砂糖価格の下落により非食用向け需要が回復することから、1688万トン（同3.3%増）とやや増加が見込まれている。一方、米国およびブラジルはいずれもわずかな減少が見込まれている。

【輸出量】

ブラジルは、砂糖生産量の減少に伴い3663万トン（同2.8%減）とわずかに減少すると見込まれる。

タイは、収穫面積の増加などでサトウキビの増産が見込まれることから、814万トン（同38.3%増）と大幅な増加が見込まれている。

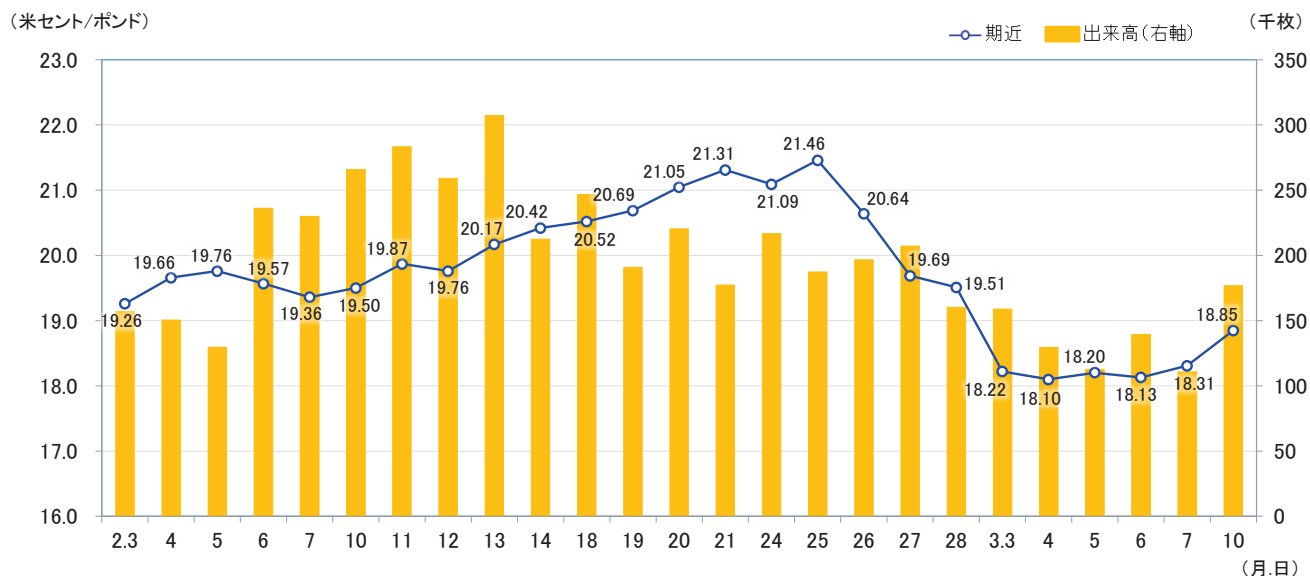
インドは、砂糖の減産や同国政府による輸出制限の継続により、380万トン（同13.2%減）とかなり大きな減少が見込まれている。

3 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（2/3～3/10）

～ブラジルの雨不足による供給懸念などから21セント台まで上昇したものの、その後急落～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：2月は期近3月限の値、3月は5月限の値。

2025年2月のニューヨーク粗糖先物相場（3月限）の推移を見ると、3日はドル高（注1）で前取引日に続き小幅な下落となったが、4日以降は1月末までのインドの砂糖生産量が前年同期比減となったことで上昇し、5日には1ポンド当たり19.76セント（注2）となった。6日以降は世界的な需給見通しの改善から下落したものの、10日以降はブラジルの降雨不足による供給懸念やインドの砂糖生産量減少などから上昇基調となり、25日には同21.46セントとなった。26日以降は、砂糖トレーダーによる25/26年度のブラジル砂糖生産量は過去最高との見通しの発表やレアル安によって急落し、28日には同19.51セントをつけ、3月限の納会を迎えた。

期近が5月限を迎えた3月3日は、砂糖トレーダ

ーが3月限の期限に大規模な原料糖の引き渡しを行ったことから、同18.22セントと前取引日からさらに下落した。4日以降はほぼ横ばいで推移し、10日はショートポジション（注3）をカバーするための買い戻しにより上昇し、同18.85セントをつけた。

（注1）粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが下落すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が高まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が高まると、需給の緩和につながることから、価格を押し下げる方向に作用する。

（注2）1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

（注3）将来の値下がり期待して売りの持ち高を取っている状態。

4 世界の砂糖需給に影響する各国の動向（2025年3月時点予測）

ブラジル

2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：892万ha（前年度比6.1%増）
生産量：6億7550万トン（同5.3%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：4701万トン（同4.7%減）
輸出量：3663万トン（同2.8%減）

2024/25年度のサトウキビ生産量はやや減少見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、892万ヘクタール（前年度比6.1%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。一方、サトウキビ生産量は、主産地である中南部地域の干ばつや火災の影響を受け、6億7550万トン（同5.3%減）とやや減少が見込まれている。現地報道によれば、中南部地域ではほぼすべての製糖工場で

24/25年度のサトウキビの压榨を終えたとされる。

砂糖生産量は、干ばつや火災によるサトウキビの減産を背景に、4701万トン（同4.7%減）とやや減少が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産砂糖の輸出量減少が見込まれる中、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖に対する堅調な需要が期待されるものの、減産を背景に3663万トン（同2.8%減）とわずかに減少が見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (2月予測)	2024/25 (3月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	8,672	8,421	8,408	8,910	8,920	6.1%
サトウキビ生産量	576,707	606,676	713,134	675,510	675,500	▲ 5.3%
砂糖	生産量	37,600	39,700	49,320	46,900	▲ 4.7%
	輸入量	5	2	5	4	▲ 29.8%
	消費量	10,949	10,928	10,965	10,800	▲ 1.5%
	輸出量	27,093	28,985	37,678	36,530	▲ 2.8%
	期末在庫量	2,156	1,945	2,627	2,201	▲ 15.9%
	期末在庫率	5.7	4.9	5.4	4.6	4.7

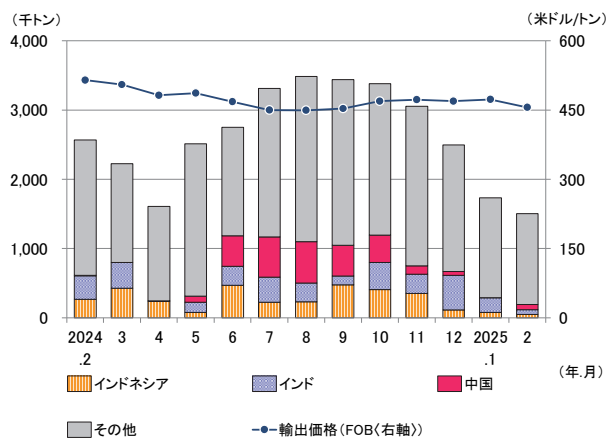
資料：GlobalData UK Ltd. [Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2025]

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

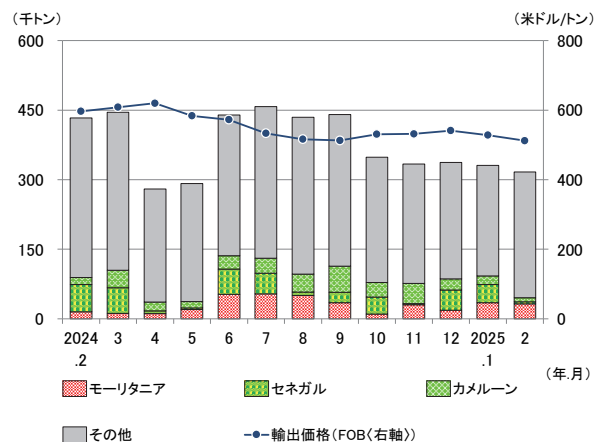
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



精製糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

インド

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：505万ha（前年度比8.9%減）

生産量：4億168万トン（同9.7%減）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：2823万トン（同18.6%減）

輸出量：380万トン（同13.2%減）

2024/25年度の砂糖生産量は大幅な減少見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、505万ヘクタール（前年度比8.9%減）とかなりの程度減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、干ばつと一部地域で発生した赤腐病（red rot）^{（注1）}の影響により、4億168万トン（同9.7%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの収穫量減少とエタノールへの転用が進んだことから、2823万トン（同18.6%減）と大幅な減少が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の減産や輸出制限の継続により、380万トン（同13.2%減）とかなり大きな減少が見込まれている。

インド政府は25年1月、国内余剰在庫の解消などを目的に100万トンの砂糖輸出を許可した^{（注2）}ことで、輸出量は前月予測から上方修正された。現地報道によれば、100万トンの輸出割当量のうち、6～7割程度は契約済みであり、数カ月以内には目標が達成されると見込まれている。

（注1）真菌の感染によって引き起こされる病気であり、茎の内部が腐り、赤色に変色する。サトウキビの単収や砂糖の回収率に深刻な影響を及ぼすとされている。

（注2）詳細については、2025年1月24日付け海外情報「インド政府が100万トンの砂糖輸出を許可（インド）」<https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho01_004013.html>をご参照ください。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

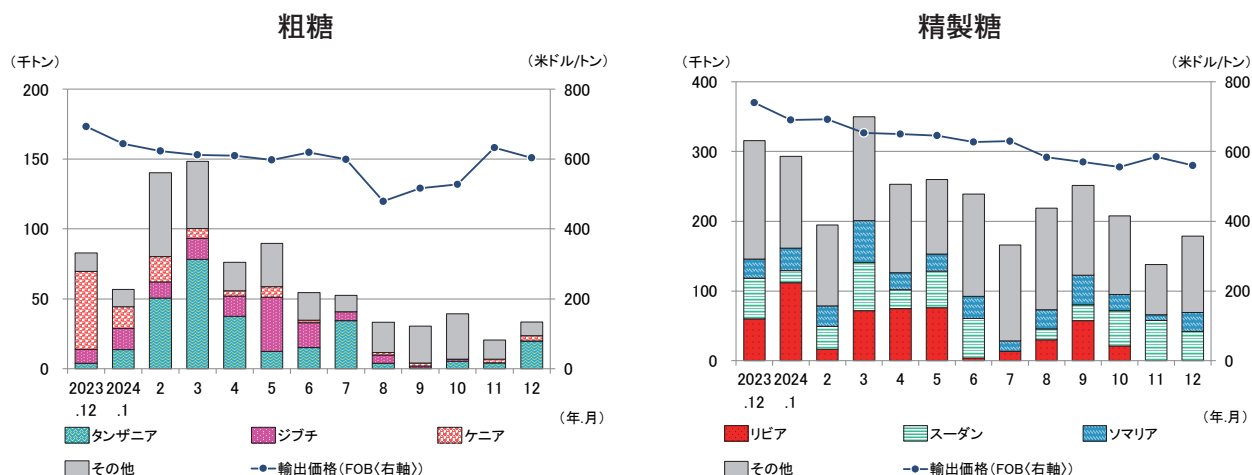
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (2月予測)	2024/25 (3月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	5,222	5,441	5,544	5,153	5,050	▲ 8.9%
サトウキビ生産量	481,599	455,898	444,739	412,703	401,679	▲ 9.7%
砂糖	生産量	38,559	35,389	34,677	29,631	▲ 18.6%
	輸入量	427	1,687	3,131	2,327	▲ 19.8%
	消費量	29,516	30,078	30,877	30,780	▲ 0.3%
	輸出量	12,468	8,646	4,378	3,617	▲ 13.2%
	期末在庫量	6,472	4,824	7,376	4,764	▲ 52.1%
	期末在庫率	15.4	12.5	20.9	13.9	10.2

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。

E U

2024/25年度(10月～翌9月)の見通し

【てん菜】

収穫面積：157万ha(前年度比8.4%増)

生産量：1億1644万トン(同6.0%増)

【砂糖(てん菜糖)】

生産量：1743万トン(同6.3%増)

輸出量：232万トン(同6.1%増)

2024/25年度のてん菜生産量はかなりの程度増加の見込み

2024/25年度(10月～翌9月)のてん菜収穫面積は、生産量上位国であるフランス、ドイツ、ポーランドを中心に各国で増加が見込まれることから、157万ヘクタール(前年度比8.4%増)とかなりの

程度増加が見込まれている(表)。てん菜生産量は、作付面積の増加と収穫後期の好天により、1億1644万トン(同6.0%増)とかなりの程度増加が見込まれている。

砂糖生産量は、てん菜の増産を背景に1743万トン(同6.3%増)とかなりの程度増加が見込まれて

いる。砂糖輸出量は、砂糖の増産により、232万トン（同6.1%増）とかなりの程度増加が見込まれて

いる。

表 EUの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

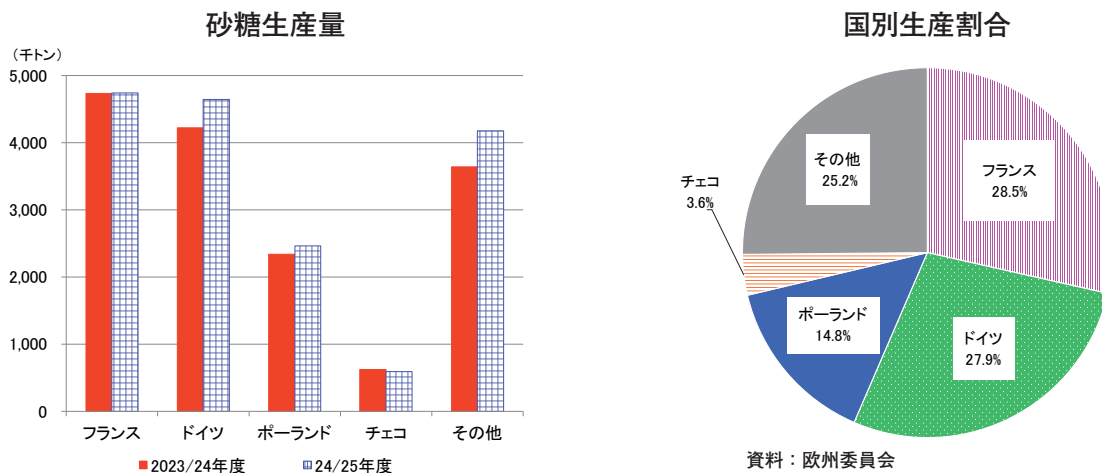
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (2月予測)	2024/25 (3月予測)	前年度比 (増減率)	
てん菜収穫面積	1,454	1,398	1,447	1,568	1,569	8.4%	
てん菜生産量	111,391	99,760	109,898	115,857	116,440	6.0%	
砂糖	生産量	17,397	15,480	16,391	17,332	17,429	6.3%
	輸入量	2,144	3,267	2,180	1,307	1,307	▲ 40.1%
	消費量	17,971	17,237	16,333	16,876	16,876	3.3%
	輸出量	1,251	914	2,189	2,321	2,322	6.1%
	期末在庫量	1,329	2,243	2,294	1,733	1,831	▲ 20.2%
	期末在庫率	6.9	12.4	12.4	9.0	9.5	2.8ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

（参考）EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し（2024/25年度）（2025年1月時点）



資料：欧州委員会

注1：精製糖換算

注2：2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度は予測値。

5 日本の主要輸入先の動向（2025年3月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しゃ糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しゃ糖・その他<同1701.14-200>の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2024年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が90.2%（前年比1.4ポイント減）、タイが9.7%（同1.3ポイント増）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪州

2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：35万ha（前年度比1.1%増）

生産量：2780万トン（同5.0%減）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：378万トン（同8.4%減）

輸出量：278万トン（同17.1%減）

2024/25年度の砂糖輸出量は大幅な減少見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、35万ヘクタール（前年度比1.1%増）とわずかな増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、頻発した豪雨や豪州最大の精糖企業で発生したストライキなどにより収穫が遅れたことで、2780万トン（同5.0%減）とやや減少が見込まれている。また、サトウキビの主産地であるクイーンズランド州では、25年1月末の豪雨で広範囲にわたり洪水が発生し、サトウキビにも冠水被害が確認されている^(注)。

砂糖生産量は、収穫の遅れがサトウキビの品質と供給の双方に影響を及ぼしたことなどから、378万トン（同8.4%減）とかなりの程度減少が見込まれている。砂糖輸出量は、アジア地域向けを中心に引き続き多くの需要があるものの、砂糖の減産見込みにより、278万トン（同17.1%減）と大幅な減少が見込まれている。

(注) 詳細については、2025年2月14日付け海外情報「主産地での洪水によりサトウキビ生産に大きな被害（豪州）」<https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho/01_004033.html>をご参照ください。

表 豪州の砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (2月予測)	2024/25 (3月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	343	328	341	345	345	1.1%	
サトウキビ生産量	30,123	32,593	29,274	29,137	27,800	▲5.0%	
砂糖	生産量	4,108	4,298	4,128	3,943	▲8.4%	
	輸入量	9	8	10	9	▲7.9%	
	消費量	1,010	996	995	1,005	1.0%	
	輸出量	3,453	2,942	3,356	2,923	▲17.1%	
	期末在庫量	813	1,181	967	991	967	0.0%
	期末在庫率	18.2	30.0	22.2	25.2	25.5	3.3ポイント増

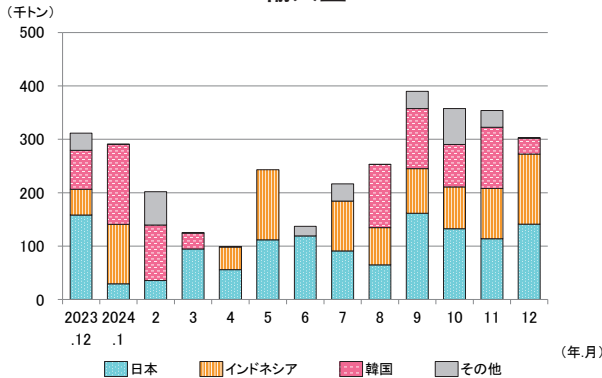
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

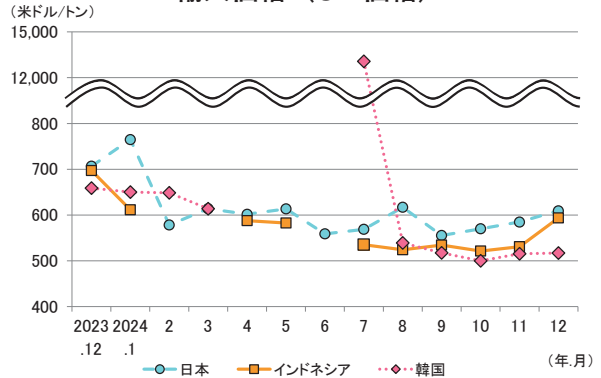
注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移

輸入量



輸入価格 (CIF価格)



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2025」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。

注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：インドネシアの2024年2月、3月、6月の輸入量は実績なし。

注5：韓国の2024年4月、5月、6月の輸入量は実績なし。24年7月の輸入量は、千トン未満。

タイ

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：167万ha（前年度比10.0%増）

生産量：9300万トン（同13.2%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：1109万トン（同19.4%増）

輸出量：814万トン（同38.3%増）

2024/25年度の砂糖輸出量は大幅な増加見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、167万ヘクタール（前年度比10.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫面積の増加と良好な気象条件により、9300万トン（同13.2%増）とかなり大きな増加が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの増産とCCS^(注)の増

加により、1109万トン（同19.4%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産やブラジル産の輸出量減少が見込まれる中、砂糖の増産を背景に814万トン（同38.3%増）と大幅な増加が見込まれている。

(注) 可製糖率：サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

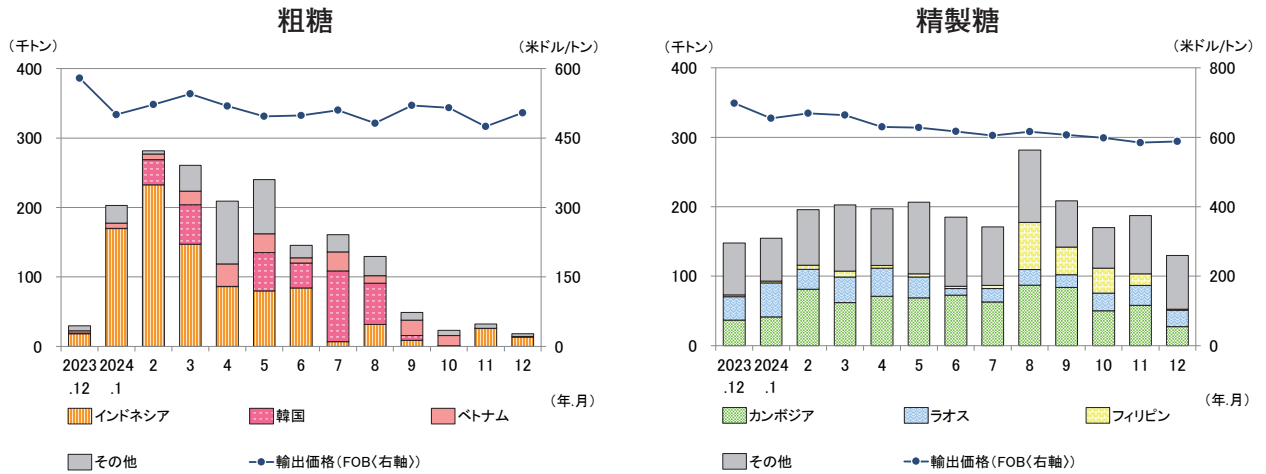
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (2月予測)	2024/25 (3月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	1,525	1,514	1,518	1,670	1,670	10.0%	
サトウキビ生産量	91,145	93,888	82,167	95,000	93,000	13.2%	
砂糖	生産量	10,643	11,682	9,291	11,324	11,094	19.4%
	輸入量	148	317	250	375	375	50.2%
	消費量	3,424	3,348	3,186	3,219	3,219	1.0%
	輸出量	7,867	8,002	5,888	8,366	8,143	38.3%
	期末在庫量	1,951	2,599	3,066	3,181	3,174	3.5%
	期末在庫率	17.3	22.9	33.8	27.5	27.9	5.8ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, March 2025」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖(粗糖・精製糖別)の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。